

構造物など撤去事業

当社は超高層構造物や焼却炉・煙突といった構造物の撤去において、人体や環境に負担をかけない独自システムを開発・使用しています。撤去後の土地再生を視野に入れ、より安全で環境に配慮した工事技術を通して、循環型社会の実現をめざします。

構造物撤去

工事者の安全の確保と環境の保全を可能にしながら、近隣の住環境、土壌、大気など自然環境への配慮を最大限にケア。「安全・環境・法令遵守」の観点から最適な工法を提案します。



屋外焼却炉撤去

ダイオキシンなどの有害物質を外に漏らさない、焼却炉解体工事・汚染土壌修復工事などに最適な負圧密閉式仮設テントを用い、環境に対する万全の体制を整えております。



低濃度PCB汚染施設撤去

負圧密閉式全天候仮設テントで覆いつつ、内膜シートでテント骨組みを保護。また熱切断処理に伴い発生する汚染物質は、換気ファン出口の排気を活性炭吸着処理してから排出します。



石綿含有仕上塗材除去

壁面に対して、密閉仮設足場を設置し、集塵装置付き超高压水洗機などを用いて表層除去。除去塗材粉は回収し、適正処理します。



煙突外筒撤去

移動昇降式足場で煙突頂部から湿式ワイヤソーでピース切断。ピースはタワークレーンで煙突外筒内を通して地上に降ろし、その後テント内へ移動し小割破砕します。



カテドラル工法®

大規模施設の解体撤去工事において、全天候型仮設テントを用いて密閉空間を創り、作業の安全性、作業負担の低減及び工期の短縮を図り、かつ周辺環境においては、粉塵飛散の防止や発生騒音の低減を実現する工法です。

※カテドラル工法は株式会社トータル環境の登録商標です。

カテドラル工法の特徴

1 環境に優しい

工事対象建屋がテントで覆われているので、気密性が高く、粉塵の外部流出がありません。

2 騒音の軽減

テント内に防音対策設備が取付られるので、騒音の軽減ができます。

3 天候に左右されない

建屋全体がテントで覆われているため、雨風による影響を受けづらくなっています。

4 作業の安全性

大型重機による工法のため、高所からの墜落・転落、飛来・落下などの重大災害を軽減できます。

5 工期の短縮

昼夜問わず24時間工事が可能なので、スピーディーな成果が期待できます。



清掃工事建替工事の工事棟および煙突部テント全景

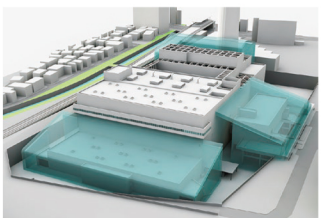
設置期間：2017年6月から15ヶ月

設置規模：工事棟テント 間口77m 桁行117m 軒高33m 棟高46m

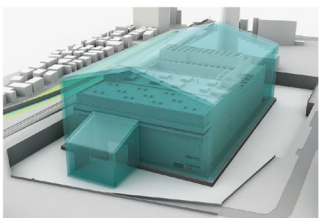
煙突部テント 間口52m 桁行33m 軒高32m 棟高42m

テント内容積 430,000m³

施工イメージ図



プラットフォームや管理棟などの附属棟を小規模全天候型仮設テントで覆い、先行解体する。



その後、大規模全天候型仮設テントで工事棟を覆い、解体する。